

記念貨幣入りハードカバー切手帳（香川県）

●ケース表イメージ

●ケース裏イメージ



●内側（三つ折り）イメージ



香川県

香川県は、日本で初めての国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置し、四国の東北部にあります。地形は半月型で、南部には讃岐山脈が縦断なり、北部には讃岐平野が展開しています。河川はおおむね讃岐山脈に源を発し、北流して瀬戸内海に注いでいます。面積は全国で最小小く(1,876.55 km²)、平地と山地はおよそ半ばしています。北は瀬戸内海をはさんで、瀬戸大橋で岡山県と結ばれ、東及び南は徳島県に、西は愛媛県と接しています。海岸線の延長は約723kmで、海面には多数の島が存在し、風光はまさに美しいものがあります。気候は、四季を通じて温暖少雨で、気候温和、明るい瀬戸内海の気候に恵まれています。

香川県章
カガワの漢文字の「カ」をデザインしたもので、香川県の特色ある山や、平野のシンボルである讃岐・讃岐の「カ」の葉を表現し、恵まれた風土にはぐくまれて、向上発展を続ける香川県のすがたを象徴しています。
[1987(昭和62)年5月19日制定]

香川県の鳥 (オリーブ)
去くかまややに多く見られる鳥で、国内に広く生息し、よく知られています。夏の渡り鳥ですが、香川県でも繁殖します。昆虫、特に、毛虫を食べるので有益です。
[1966(昭和41)年5月19日制定]

香川県の花 (オリーブ)
モセイ科の常緑樹で、初夏に白い小さな花をつけます。オリーブでは、平和と北米の象徴です。制定しては、1954(昭和29)年のNHK祝賀記念金貨で発表されました。オリーブは香川県の基本木であります。

500円ハイカー・クラブ貨物

ハイカー・クラブ貨物は、同業の長年を積み重ねたハイカー・クラブに、金貨を誇る名産品の金貨で飾られたハイカー・クラブの貨物と銘を刻み合わせたものです。

【香川県】産品『金刀比羅宮から響く讃岐平野』

◎金刀比羅宮から響く讃岐平野をデザインしています。
金刀比羅宮：古くから「さかひのこけりふる」として親しまれる、香川県を代表する名所、海の守護神として知られ、全国から年間約30万人が訪れる。本宮まで785段、奥社まで1,369段に及ぶ参道の石段は、参詣者の足音を響かせる。参詣者や参詣者の足音を響かせる。参詣者や参詣者の足音を響かせる。参詣者や参詣者の足音を響かせる。

500円ハイカー・クラブ貨物の概要

種類	500円
素材	ニッケル黄銅、白銅及び銅
高さ	約19%、直径は5%、厚さは12.5%
重量	約17.5g
発行	2014年10月
その他の特徴	長崎県産のオリーブ、讃岐平野